

令和6年度市町村教育委員会との連携による学校サポート事業

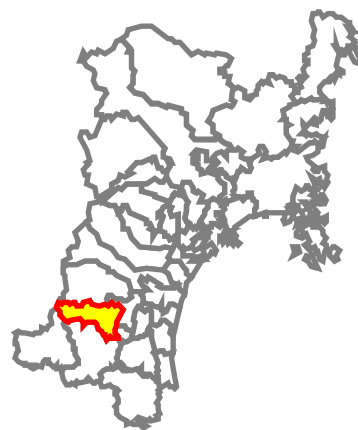
蔵王町教育委員会

☆サポート対象校
永野小、円田中

☆対象教科
算数・数学

☆主な特徴

- ・協働的な学びを効果的に取り入れた授業
- ・ICT機器の効果的な活用



☆事業の内容

回数	1	2	3	4
月日	5月31日	7月8日	9月18日	12月10日
主な内容	蔵王町ふるさと文化会館を会場に指導主事による講話	円田中で数学の授業実践、事後検討会	永野小で算数の授業実践、事後検討会	蔵王町ふるさと文化会館を会場に指導主事による講話

☆事業の様子



第1回「ふるさと文化会館で行った研修会」

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた算数・数学の授業づくりをテーマに、ICTの効果的な活用や協働的な学びについて、指導主事からの具体的な事例を交えた講話を基に理解を深めました。また、今年度の全国学力・学習状況調査の特徴を把握し、授業改善のヒントを得ました。



第2回「円田中の数学の授業(2年)」

連立方程式の研究授業で、生徒が問題に応じた解き方を考え、説明できることを目標としました。ICTの活用やグループ活動を取り入れ、協働的な学びを促していました。検討会では、指導主事から授業の工夫が評価され、適用問題に取り組む場面を設定することについて助言がありました。



第3回「永野小の算数の授業(6年)」

複合図形の面積の研究授業でした。教師は、児童の学力差に配慮し、デジタルとアナログそれぞれの良さを生かしながら丁寧な指導を行っていました。検討会では、児童の家庭学習状況を教師が事前に把握し、これを生かした導入を丁寧に行っていたことが良かった等の意見が交わされました。



第4回「ふるさと文化会館で行った研修会」

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるための算数・数学科の授業づくりについて、指導主事からの多様な児童生徒に対応するための具体例、協働的な学びを単元全体を見通して生かすための計画の重要性、主体的な学びの評価についての講演を通して理解を深めました。